

2026 年度 上宮学園中学校 入学考查問題 (1 次入試適性検査型)

国語型

(注意)

- (1) この問題用紙は、「開始」の放送があるまで開いてはいけません。
- (2) 問題は 一 から 二 まであります。試験時間は 50 分です。
- (3) 解答用紙は別に 1 枚あります。
- (4) 解答用紙には、必ず受験番号・名前を記入しなさい。
- (5) 「終了^{しゅうりょう}」の放送で、筆記用具を置きなさい。

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

① 東京都内にある小学校の校長先生と話をした時のことです。とても活気のある学校で、子どもたちは生き生きしているのですが、校長先生は児童向けに実施したアンケートの結果が気になるといいます。「授業は楽しい」や「授業の内容は、よく分かる」という項目に対する肯定的な回答が多いのはよいものの、それに比べて全国学力テストの結果が、あまり芳しくないというのです。

(A) 「子どもたちの自己評価が高すぎはしないか」というのが懸念の理由でした。校長先生は真剣でしたが、私は少しおかしくなってしまうしました。先生方からすれば、本当は授業が分かっていないのに、「分かっている」と信じ込んでいる児童がいれば心配でしょう。一方で、世の中では子どもたちの自己肯定感の低さが大きな問題になっています。双方をはかりにかけた際に、自己評価が高すぎるといえるのはある意味幸せだと思ったのです。

日本を含む七か国の十三～二十九歳の若者を対象にした内閣府の意識調査(二〇一三年度、日、韓、米、英、独、仏、スウェーデン)があります。日本の若者たちは「自分自身に満足している」に対して「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答したのが、四十五・八%で七か国中最低(最高は米国の八十六・〇%)、「自分には長所がある」も六十八・九%で最低(最高は米国の九十三・一%)です。

こうした日本の若者たちの好ましくないデータについて、専門家の中には「日本人は控えめで謙譲の美德があるから自己肯定感の数字が低く出てしまう」という分析をする人もいます。そうした見解は、確かに一面の真実を言い当てているのでしょう。日本人は自己主権が苦手で、国民性を表すジョークでも「国際会議の議長にとって最も難しい仕事は、インド人の発言を抑制することと日本人の発言を促すことだ」なんて言われたりもします。

(B) 、私はこの数値には別の問題が潜んでいる気がしてなりません。もしかすると、若者たちは、本当は自己評価が低いのではなく、「日本社会で生きていくには、自己肯定感を低く保っておいた方が何かと都合がよい」と感じているのではないのでしょうか。

日本という社会は、諸外国に比べてチャレンジしようとする人に冷淡で、失敗にも不寛容だと言われます。問題を起こした会社の経理陣が、記者会見の席でそろって頭を下げるのはおなじみのコウ景です。うまくいった時も、喜びを前面に出すより控えめにしておいた方が、失

敗した時に周囲から叩かれたいのではないか。そんな本音が見え隠れします。その態度をさらに押し進めれば、「自分はつまらぬ人間だ」と思
い込んでおいた方が、何かあった時に大きなダメージを受けずにすむという発想につながっていきます。注謙遜社会」と言えば聞こえはよい
ですが、誰もが自己防衛にきゆうきゆうとしている姿が、数値にも反映されてはいないでしょうか。

小さなことで言えば、子どもが転びそうになった時に、すぐに手を差し伸べて未然に防いしまうのも、「失敗してはいけない」というシグ
ナルを送ることに一役買っているのでしょうか。大げがをしない程度なら、本当は転んで学ぶこともたくさんあるはずですが。

知り合いの小学校の先生が幼稚園を訪れた時の体験談を語ってくれたことがあります。園児が教室でつまづいて転びそうになったので、と
つきに抱きかかえようとしたそうです。周りを見ると、幼稚園の教諭は、園児を支えようとするのではなく、机の角を手で押さえていたのだ
そうです。この幼稚園の教諭たちは園児が転ぶことは織り込みずみで、転ぶことも経験の一環と考えている。その上で、子どもたちが大げが
をしないように対処していることに気づかされ、先生は「教育者でありながら、それが見えていない自分が恥ずかしかった」と頭をかいてい
らっしゃいました。

「縮こまっておいた方が無難」という社会や周囲の空気を敏感に感じ取り、主体性から遠のいてしまう若者がいるならば、映し鏡としての
大人の姿こそが問われるべきなのかもしれません。

(名古屋 隆彦『質問する、問い返す』による 作問の都合上、表記を変更したところがある。)

注 肯定的：「そのとおりだ」と同意することや、物事の良い面を積極的に認めるさま。

芳しくない：状態が良くない。思わしくない。

懸念：気にかかって不安がること。心配。

謙譲：他人をややまって、自分についてはひかえめな態度をとること。

謙遜：ひかえめな態度でふるまうこと。

問1 — 線部 a c は、どのような漢字を使いますか。 — 線部と同じ漢字を使うものを、次の中から一つずつ選んで、それぞれ記号で答えなさい。

- a ア 内容がチヨウ複している。 イ 空が暗いのは雨の前チヨウだ。 ウ 母は出チヨウで不在だ。
- b ア 店のエイ業時間を調べる。 イ 世界のエイ遠の平和を願う。 ウ 思い切ってエイ断する。
- c ア 難しい実験に成コウする。 イ 複雑なコウ造の建物。 ウ 植物に日コウを当てる。

問2 — 線部①「東京都内にある小学校の校長先生と話をした」とありますが、筆者が校長先生と話をして感じたことを説明した次の文の 1 4 に入る言葉を 1 は十字、2 は九字、3 は十八字、4 は六字で、文中からぬき出してそれぞれ答えなさい。(句読点も一字に数えます。)

校長先生は、子どもたちの 1 が良くないのに、 2 のではと心配していたが、筆者は、 3 いる世の中で、 2 ことは 4 なことだと感じた。

問3 (A)・(B)に入る言葉としてふさわしいものを、次の中から一つずつ選んで、それぞれ記号で答えなさい。

- ア さて イ つまり ウ また エ あるいは オ しかし

問4 — 線部②「自己肯定感を低く保っておいた方が何かと都合がよい」とありますが、日本の若者たちは、なぜこのように感じているのですか。それを説明した次の文の に入る言葉を、四十五字以内で答えなさい。(句読点も一字に数えます。)

日本社会では諸外国よりもチャレンジする人に冷たく、失敗も受け入れられにくいので、 から。

問5 ―線部③「それ」が指す内容について説明した次の文の に入る言葉を は四字、 は三

字、 は二字で、文中からぬき出してそれぞれ答えなさい。(句読点も一字に数えます。)

1 を止めるのではなく、	2 を避けながらも、	1 によって園児たちに失敗の	3 を積ませた方が
---	---	---	--

よいということ。

問6 「自己肯定感」を上げるためには、どのような考え方やどのような行動をすることが大切だと思いますか。本文の内容をふまえて、あなたの考えを具体的に**八十字以上百字以内**で答えなさい。ただし、次の「きまり」にしたがって書くこととします。

「きまり」

- ・ 題名は書かず、最初のマスから書き始めなさい。
- ・ 段落は変えず、一段落でまとめなさい。だんらく
- ・ 句読点も一字に数えます。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

異文化を知るてっとりばよい方法が、「旅」です。そう旅行です。自分の住んでいるまちから、あるいは日本から一歩踏み出してみることです。すると、今まで知らなかった風景や食べ物に出会うだけでなく、そこに住む人々の習慣や暮らしも見えてきます。自分のところにはない良さや、取り入れられそうなことに気づくこともあります。自分の住んでいるところの良さ、ありがたさを改めて感じることもあるでしょう。私は生まれてから四〇年間、ずっと東京で暮らしていました。通勤や通学に片道一時間は当たり前。二時間以上かかっていた時期もあります。それもずっと満員電車でしたが、何の疑問も持っていませんでした。

今から二〇年ほど前に函館に引っ越してきて、こんなに豊かな暮らしがあったのかと驚きました。気候や食べ物だけでなく、時間の流れ、人との距離が違います。国内ですら、このような感情が湧くのです。外国だったらどうでしょうか。

同じ大学内で体験した「異なる環境」についてもお話ししたいと思います。

私のお隣の研究室の同僚は、二〇〇〇年の大学開学時にパートナーの盲導犬を連れて函館に赴任してきました。彼は、人は移動する時に五感をどのように利用しているのかについて研究している、全盲の認知心理学者です。彼の研究はスマートホームやスマートシティ実現のための基礎研究としても役立つことでしょう。

できあがったばかりの校舎の中を一緒に歩いてみたとき、点字ブロックの位置が微妙にずれている箇所をいくつも発見しました。階段が始まるところ、廊下が曲がるところ、教室の入り口など。点字ブロックの配置には決まりがあり、その位置が少しでもずれているととても危険です。点字ブロックはただあれば良いというものではないことを、このとき認識しました。

そんな彼の日常を少しのぞいてみましょう。彼に届いた電子メールは、文字を読み上げるアプリを使うと、動画の倍速再生のような音声で聞くことができます。プリンタは、点字として印字するものや、注発泡インクで浮き上がらせるものがありました。これは二〇年も前の話で、今も進化し続けてもっと便利にかつ機能的になっています。

注 障害のあるなしだけでなく、年齢や言語、文化の違いに関わらず、なるべく多くの人が使えるように、ものやサービスをデザインするこ

とをユニバーサルデザイン(UD)といいます。私たちが日常使う製品やシステムを開発する際、特定のニーズを持つ人たちに焦点を当て、研究開発していきます。彼の日常は、そうしたものたちによって支えられています。でも、そのような製品をデザインすることの効用は、彼を支えるものを作るのみにとどまりません。

例えば車いすの人のために段差がない歩道や駅を作ると、ベビーカー利用者や荷物の搬出入にも便利になります。ある支援が必要な人を想定してデザインすると、想定していなかった人たちにとっても良いものになる可能性があるのです。

育児や介護などのために、勤務時間を短縮する、定時の帰宅を奨励するなどの制度は女性の声からできたものですが、みんなが使えるよう制度化してみると、長時間労働や残業を当たり前と思ってきた男性にとっても、生活の質を良くすることにつながります。

不便を感じたり、疑問に思ったりしたら声に出してみることに。まわりには同じように感じている人がいるかもしれません。一方で、少数の声に耳を傾けることで、新たに見えてくることがあります。UDの考え方を製品やサービスだけでなく、制度や社会のあり方まで広げて適用していけば、まだまだ変えていくべきところがたくさん見えてきます。そうしたことをAIやロボットで改善していくこともできますし、人の意識を変え、社会を変え、誰もが暮らしやすい社会を作ることができるのです。

現在、スマートフォンや家電が音声に反応してはたらし、状況によってはハンドルを離して走行できる車も登場しました。たとえば生活が情報技術に大きく依存しているとしても、よりよい社会を作るには、異なる視点から見ることに、誰かに寄り添って考えることが欠かせません。そこにこそ、新しいものや仕組みを生み出す機会がありそうです。

注 発泡インク：ふくらみを生み出す特殊なインク。

障碍：「障害」と同じ意味。

AI：人工知能。

(美馬のゆり『AIの時代を生きる』による)

問1 ―線部「そのような製品をデザインすることの効用は、彼を支えるものを作るのみにとどまりません」とありますが、どういうことですか。それを説明した次の文の 1 ・ 2 に入る言葉を 1 ・ 2 とも十二字で、文中からぬき出してそれぞれ答えなさい。（句読点も一字に数えます。）

1	のための製品をデザインすることは、	1	だけでなく、	2	の生活もより良いものになる可能性を生み出す
---	-------------------	---	--------	---	-----------------------

ということ。

問2 筆者は、なぜ「異文化」や「異なる環境」を知ったり経験したりすることをすすめているのですか。本文の内容をふまえて、八十字以内で答えなさい。ただし、次の「きまり」にしたがって書くこととします。

「きまり」

- ・ 題名は書かず、最初のマスから書き始めなさい。
- ・ 段落は変えず、一段落でまとめなさい。
- ・ 句読点も一字に数えます。

